

教育委員会議会議録〔詳細〕は、市役所1号館2階の市政資料室で公開しています。

.....

佐倉市教育委員会会議録〔会議概要〕

令和5年11月教育委員会会議：定例会

期 日 令和5年11月15日（水）開会 午後2時00分
閉会 午後2時43分

会 場 社会福祉センター3階中会議室

出席委員 圓城寺一雄 教育長 吉村真理子 教育長職務代理者
菅谷 義範 委員 熊倉 夏子 委員
柴内 靖 委員

傍聴者 1名

出席職員 教 育 長 圓城寺 一雄(再掲) 教 育 部 長 緑川 義徳
教育部参事(学務課長事務取扱) 村上 武宏 教育部参事(指導課長事務取扱) 榎本 泰之
教育総務課長 菊間 明美 教育センター所長 松原 和弘
社会教育課長 舎人 樹央 文 化 課 長 猪股 佳二
教育総務課企画財務班長 平野 昌彦
事務局 教育総務課教育総務班長 千々岩和代 教育総務課教育総務班 實川 和博

〈 会議概要 〉

1 教育長開会宣言

2 報告事項

① 教育長より2件報告

志津小学校及び南志津小学校で開催された周年行事について、第69回佐倉市文化祭小学校体育大会及び第18回佐倉市子供議会についての2件報告する。

1点目、10月20日に開催された志津小学校の創立150周年記念式典、芸術鑑賞会及び10月21日に開催された南志津小学校の創立50周年記念式典、ミュージックフェスタについて。両校とも学校を支えている地域の方々や保護者の方々多数参加の下、児童の元気な歌声が体育館に響きわたり、児童の楽しそうな表情が印象的で、大変すばらしい周年行事となった。

2点目、10月26日に市内の代表児童890人が参加し、小出義雄記念岩名陸上競技場にて開催された第69回佐倉市文化祭小学校体育大会、及び、11月7日に中学校11校の代表13名の参加により開催された第18回佐倉市子供議会について。最後まで諦めずに、一生懸命に取り組む児童の姿や、主体的に自分の役割を果たそうとする生徒の姿は大変印象的であり、改めて特別活動の重要性を感じた。

② 表彰関係について【教育総務課長、学務課長、指導課長、文化課長】

(教育総務課長)

資料1ページ、文化の日千葉県功労者表彰健康福祉功労の部門で菅谷教育委員が受賞された。

菅谷教育委員は、平成27年に印旛市郡医師会副会長としてリスクマネジメント対応策をまとめ、診療所における医療従事者への暴言、暴力対応マニュアルを作成、また令和元年からは同会会長として住民健診や予防接種への協力、休日夜間急病診療所等の運営に努めるなど、地域医療に多大なるご貢献をされた。今回長きにわたるご功績により、千葉県功労者として表彰された。

(学務課長)

同じく資料1ページ、千葉県教育功労者表彰、学校教育の部で受賞された佐倉東中学校の加藤康男校長について報告する。

加藤康男校長は、昭和62年、教職の道をスタート、千葉県教育庁指導課指導主事、平成29年、佐倉市立臼井西中学校長に就任。その後、教育庁北総教育事務所主席指導主事を歴任し、令和4年度から現職である佐倉東中学校長として活躍された。

この間、学校経営や教育行政において実績を上げられ、特に英語科教育の推進に尽力いただいた実績が高く評価され、今回の受賞となった。

(指導課長)

資料は2、3ページ、指導課からは4名の方について報告する。

青菅小学校の竹内重幸校長。学校体育の振興に寄与し、特に印旛支部の体育の発展に大きく貢献いただいた。このたび、千葉県学校体育功労者表彰を受賞した。

西志津中学校の藤原敬悟学校医。昭和63年に西志津中学校の学校医に就任、以来35年の長きにわたり西志津中学校で学校医を務め、このたび、学校健康教育功労者表彰を受賞した。

南部中学校の小縣雅子養護教諭。印旛地区のみならず、千葉県の健康教育の推進と発展に寄与いただいた。このたび、学校健康教育功労者表彰を受賞した。

志津中学校の須藤聡子養護教諭。長きにわたり佐倉市の歯科保健指導を推進し、現在は印旛郡市養護教諭会会長として養護教諭の資質向上に貢献している。このたび、千葉県歯科医師会長表彰を受賞した。

(文化課長)

文化課からは文化の日千葉県功労者表彰（文化功労）を受賞した佐倉市文化団体連絡協議会会長、横田博氏について報告する。

平成12年から佐倉市文化団体連絡協議会の役員として活躍され、平成14

年には会長に就任。その後、同じく平成14年から千葉県芸術文化団体協議会の理事、平成29年からは常任理事として、同団体の主要事業である文化芸術フォーラムにおいて加盟団体への広い参加を促し、県域全体にわたる芸術文化団体の交流促進に取り組まれてきた。このたび、文化功労として受賞した。

③ 教育懇話会について【教育総務課長】

資料のとおり、10月21日、佐倉中学校において教育懇話会を開催した。参加者総数は498名、このうち、一般参加者は2名であった。

弁護士による「SNS問題と法律について」と題した講演の後、SNS問題をテーマとして4グループに分かれ、SNS問題を未然に防ぐために、学校や家庭でできることについて意見交換を実施した。意見交換を通して、SNSは便利なツールである一方、危険と隣り合わせなツールであることを学校、家庭、地域が連携し合いながら子どもたちと一緒に考えていくことの重要性を再認識するとともに、それぞれの立場で何ができるかを考えるよい機会になった。

当日のグループ別発表やアンケート結果、感想等にもあるように、講演や様々な立場の方々と意見を共有し合う中で改めて気づいたことや感じたことがあり、大変有意義であったと意見が多くあった。

なお、懇話会の概要やいただいた意見等については、ホームページでも周知を図っていく予定である。

④ 第69回佐倉市幼・小・中学校図画書写作品展について【指導課長】

10月4日から9日までの6日間、美術館にて開催した。各小中学校からは、図画、書写を合わせて1,272点の出品があり、来場者は延べ8,889名、これは名簿上に記載していただいた数になるが、家族連れなど非常に多くの方に来場いただいた。どの作品も大変すばらしく、来場者の皆様には大変喜んでいただくことができた。

⑤ 第69回佐倉市文化祭小学校体育大会について【指導課長】

10月26日、多くの保護者が応援に駆けつけ、盛大に開催された。子どもたちの走る姿はもちろんであるが、自分たちの学校を懸命に応援する子どもたちの姿に、大変感激した。限られた練習時間の中、先生方も子どもたちのために授業や放課後、休み時間などに練習に励み、子どもたちも練習の成果を十分発揮できた大会となった。

⑥ 第18回佐倉市子供議会について【指導課長】

11月7日（火）に議場で開催し、今年は各中学校の代表13名が参加した。生徒たちの質問はどれもすばらしく、佐倉市のことを真剣に考えているのがかがえた。また、模擬議会を体験することで、市役所の働きや市の政治の仕組みなどをより深く学習することができたと感じている。約2時間半に及ぶ議会であったが、生徒たちは最後まで真剣な面持ちで参加し、その姿は学校の代表という使命感にあふれ、すばらしい体験ができたのではないかと考える。

⑦ 第7回佐倉学子供作品展について【社会教育課長】

幼・小・中学校図画書写作品展と併せて美術館で開催。応募のあった 926 点で校内選考を行い、各学校から 2～4 点を選出、合計 88 点が展示された。今年市長賞 11 点、教育長賞 9 点としたが、展示されたどの作品も佐倉に関することを丹念に調べ上げ、実際に現場を訪れるなど力作ぞろいであった。なお、作品展の様子を写真に掲載している。

また、市長賞、教育長賞の作品については、現在市役所 1 号館 3 階廊下に展示しており、今後高校の作品と併せて夢咲くら館で展示する。

⑧ 令和 6 年佐倉市成人式について【社会教育課長】

例年同様、佐倉市と佐倉市教育委員会が主催となり、実施担当はこども支援部こども政策課。令和 6 年 1 月 8 日の成人の日（祝日）に開催する。

本年も新成人を中心とした成人式運営委員会により企画、記念品の選定、準備から式典の司会進行を行う。なお、昨年度との変更点としては、昨年は密を避ける観点から志津地区を 2 回に分けていたところ、今年度は志津地区を 1 つとした。そのため全 3 回となる。また、保護者についても今回から入場可能となっている。

最後に資料 3 ページ、令和 6 年の成人の日事業対象者人数は、前年の対象人数と比べて 23 人増の 1,567 人となる。

⑨ いじめの件数について【指導課長】

10 月末日までのいじめの状況について、認知件数は小学校で 214 件、中学校で 174 件、合計 388 件の報告を受けている。今月新たに認知された件数は 46 件である。

いじめの問題では、子どもたちの心の様態も含めて、非常に複雑なものもある。今後もきめ細やかに子どもたちの状況把握に努め、子どもたちへの声かけを大切にするとともに、相談しやすい環境整備に努め、いじめの早期発見、即日対応に努めていく。

⑩ 感染状況について【指導課長】

10 月 17 日から 11 月 12 日までの感染症の状況について報告する。インフルエンザ 1,095 名、新型コロナウイルス感染症 39 名、溶連菌感染症が 14 名、流行性耳下腺炎 2 名、流行性角結膜炎 2 名、咽頭結膜熱 1 名。

10 月 17 日以降、先月同様、インフルエンザによる閉鎖が増加傾向となっている。学校閉鎖が 1 校、学年閉鎖が 9 学年、学級閉鎖が 32 学級。新型コロナウイルス感染症による閉鎖はなかった。各学校へは引き続き感染症予防対策を徹底するように指示していく。

《委員から報告》

感染症の追加の報告をする。第45週、11月6日から11月12日、インフルエンザがかなり多いということは変わらないが、その前の第44週、10月30日から11月5日に比べると大分減った。印旛市郡医師会内で第44週、総数813名、これは24の定点からの報告であるが、定点当たり33.8。それから先週は総数636名で、定点当たり26.5。定点として7ぐらいは減っている。

新型コロナウイルス感染症はかなり減っており、先々週の第44週、10月30日から11月5日が総数57名で、定点当たり2.38。先週、第45週、11月6日から11月12日が総数51名で、定点当たり2.13。インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の差は12.4倍である。

最もインフルエンザが多かったのが、第43週、10月23日から10月29日までで、定点当たり35.8なので、先週は10ポイントほど減っている。第43週、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の開きは12.3倍だったのが、2週間前、第44週が14.2倍なので、一旦差が開いたのが、また縮まった、というよりもインフルエンザが減った。

今、溶連菌感染症の話があったが、先週の第45週、11月6日から11月12日は定点当たり4.75なので、これはやっぱり多いことは多い。新型コロナウイルス感染症よりはこちらのほうが多いだろう。

感染性胃腸炎はまだ多くて、これは先週が定点当たり6.56あったので、また注意をしていただいたほうがいい。

それと、咽頭結膜熱が先週、定点当たり4.13なので、この辺が一番感染症としては注意をしていただくということ。やはり大分寒くなっているので、インフルエンザの数がもう一回増えるかもしれない。

その辺の注意をしていただいて。新型コロナウイルス感染症のほうはこのまま落ち着くかもしれないが。今まで第9波まであって、一旦収まりかかってまた次が増えてくるから。次の第10波が出てくるということもありうるので、感染予防については引き続き注意をしていただいて。インフルエンザについても同じ注意である。手洗い、うがい、それから過労を避けるとか、マスクの着用をするとか、その辺だけ気をつけていただければ。

3 議決事項

議案第1号 令和5年度佐倉市11月補正予算（教育委員会所管分）について
教育総務課長より上程議案の説明

内容：資料1ページ、教育費11月補正歳入歳出予算の総括である。表の右から3列目、11月補正額として太枠で囲っている部分、補正額については、歳入が13万円の増額、歳出が1,462万5,000円の増額となっている。

続いて、予算の概要を説明する。資料3ページ、2の歳出、今回の歳出予算の補正では、職員人件費と会計年度任用職員の給与改定に伴うものが多くなっている。職員人件費については、本年4月の人事異動に伴い、各所属の給与及び共済費の支出見込額が当初予算の積算から変わったことから増減補正をしようとするものである。

資料3ページ、上段の9款教育費、1項教育総務費、2目事務局費、職員人件費の補正については、教育総務課、学務課、指導課職員分となる。この

ほか職員人件費の補正については、資料の4ページ下段、4目教育センター費のほか、6ページの4項幼稚園費、7ページから9ページの5項社会教育費関係、10ページの6項保健体育費にもあるが、いずれも同様の理由によるものである。

また、会計年度任用職員の給与改定については、国の人事院勧告に基づき改定実施に対応するため、増額補正を行うものであり、教育総務課のほか、各予算担当所属より必要な経費を計上している。

続いて、人件費以外の歳出について説明する。資料7ページ、中段の5項社会教育費、1目社会教育総務費、13、社会教育施設改築・改造事業206万9,000円の増額である。これは、夢咲くら館の整備に伴い発生した空地となった部分に対する現状復旧に要する費用を補償費として計上するものである。

資料9ページ上段、5目音楽ホール費、6、市制70周年・開館40周年記念公演事業13万円の増額である。これは、令和6年5月に開催を予定している記念公演演奏会、熊谷彩春、千葉交響楽団の開催に必要なポスターやチラシ等を作成するための費用を計上するものである。

続いて、資料2ページ、1の歳入、文化振興積立基金繰入金については、先ほど歳出において説明した市制70周年・開館40周年記念公演事業に充当するものである。

続いて、資料11ページ、債務負担行為補正が2件、通年債務負担行為補正が19件である。債務負担行為補正のうち部活動地域移行実証調査業務委託については、部活動地域移行に向けた多様な実証データを収集することを目的に、令和6年度当初から各中学校で取組を始めるために、今年度中に入札等の契約事務を執行する必要があることから、債務負担行為を設定しようとするものである。また、熊谷彩春×千葉交響楽団演奏会・公演委託についても、令和6年5月の演奏会開催に向けて必要となる契約事務の執行のため債務負担行為を設定しようとするものである。

次の通年債務負担行為補正については、令和6年度当初から実施する通年の業務委託等について、今年度中に入札等の契約事務を執行する必要があることから、債務負担行為を設定しようとするものである。

《議決事項についての質疑概要》

【委員1名より】

11ページの債務負担行為の補正の追加、1番、部活動の地域移行実証調査業務委託。これは3,300万とあるが、内容としてはどういうものか。

【指導課長】

今後、プロポーザルによる委託団体の決定をしていくのだが、金額の内訳として、一番大きなところは人件費。指導者の報酬であったり、指導者の交通費、その他、スポーツ安全保険。これは生徒や指導者に係るのと、あとは地域クラブ活動の運営実施に係る諸経費。それと人材確保システムというものを委託団体のほうで活用していくのだが、そのためのシステム構築に当たる費用とか、施設使用料になっている。主には、人件費が一番大きなところである。

【委員 1 名より】

業務委託先は 1 団体か。

【指導課長】

1 つの委託団体での契約となる。

【委員 1 名より】

人材確保システムという話があったが、これは今実証調査の段階なので、これ将来的にずっとこのシステムを使っていくわけか。

【指導課長】

その辺りについては、令和 6 年度実証実験を行う中で、地域移行の在り方を検討していくので。必ずしも 7 年度以降も同じような形になるというわけではない。より佐倉市に適した地域移行の在り方を検討していく。

《議決結果》

可決

議案第 2 号 佐倉市学区審議会委員の委嘱について

学務課長より上程議案の説明

内容：学区審議会委員については、任期が令和 5 年 11 月 30 日で満了するため、改めて委嘱を行うものである。

資料 1 ページ、委員候補者名簿である。委員の構成は、識見を有する者 4 名、公立小中学校 P T A 代表 2 名、公立小中学校長代表 2 名、佐倉市市長部局代表 2 名の計 10 名である。

ナンバー 1 番、天田美佐枝氏については、新規に就任いただくものである。ナンバー 2 番、大野尊史氏については、令和元年度から学区審議会委員として就任されており、引き続き就任いただくものである。両者とも就任することについて了承を得ている。

そのほかの候補者については、それぞれ佐倉市民生委員・児童委員協議会、佐倉市 P T A 連絡協議会、佐倉市校長会、佐倉市長から推薦をいただいた者であり、全て再任である。

委嘱期間は令和 5 年 12 月 1 日から令和 7 年 11 月 30 日までの 2 年間。承認いただいた場合、資料 3 ページの委嘱状（案）をもって委嘱をする。

《議決事項についての質疑概要》

【委員 1 名より】

条例第 6 条、必要に応じて会議を開くとあるが、去年はどうか。会議は開いているか。

【学務課長】

昨年度は開催していない。

【委員 1 名より】

学区の変更がなければ、ほとんどないと思うのだが、最近はどうなのか、会議の開催状況。

【学務課長】

ここ数年、開催はしていない。一番最近でいうと平成 24 年度まで遡り、2 回開催している。それ以降集まったの開催というのは実施していない。

《議決結果》

可決

4 教育長閉会宣言